

2020年11月30日

各 位

研究支援部

令和3年度 科学研究費助成事業（学術変革領域研究（A・B））の公募について

標記の件について、日本学術振興会より公募の通知がありましたので申請予定の先生におかれましては、公募要領を熟読のうえ、下記のとおりご提出いただきますようお願いいたします。

記

1. ID・パスワードについて

応募書類の提出は「科研費電子申請システム」による電子申請です。

ID・パスワードの取得を希望される場合は、12月25日(金)までに各キャンパスの研究支援課にお申し出ください。

(所属研究機関が変わってもIDはそのまま継続されますので、すでに取得されている場合はお申し出不要です。)

2. 応募資格

「学術変革領域研究（A）」

○次代の学術の担い手となる研究者（令和3（2021）年4月1日現在で45歳以下の研究者）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が複数含まれる領域構成であること。

○公募研究は、研究期間は2年間（領域設定期間の2～3年目及び4～5年目）とし、領域設定期間の1年目に令和4（2022）～令和5（2023）年度分、3年目に令和6（2024）～令和7（2025）年度分の公募を行い、次の最低基準のいずれかを上回るよう設定すること。

- 1) 1年目と3年目それぞれの採択目安件数が15件を上回ること。
- 2) 公募研究に係る経費の総額（令和4（2022）～令和7（2025）年度の合計）が研究領域全体の研究経費（5年総額）の15%を上回ること。

○学問分野に新たな変革や転換をもたらし、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域、又は当該学問分野の強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を目指す研究領域であって、多様な研究グループによる有機的な連携の下に、新

たな視点や手法による共同研究等の推進により、革新的・独創的な学術研究の発展が期待されるもので、次の 1)～3)の全ての要件及び該当する場合は 4)の要件を満たすもの。

- 1) 基礎的研究(基礎から応用への展開を目指すものを含む。)であって、複数の分野にまたがる研究領域の創成や革新的な学術研究の発展が期待されるもの。
- 2) 「(i)国際的な優位性を有する(期待される)もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する(期待される)もの」。
- 3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を変革することなどが研究領域の成果として十分に期待されるもの。
- 4) 過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は他の研究費制度において採択された研究領域を更に発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分に得られており、それまでの成果を踏まえ、更に強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているもの。

「学術変革領域研究(B)」

- 領域代表者は、次代の学術の担い手となる研究者(令和3(2021)年4月1日現在で45歳以下の研究者)であること。
- 次代の学術の担い手となる研究者(令和3(2021)年4月1日現在で45歳以下の研究者)を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が複数含まれる領域構成であること。
- 学問分野に新たな変革や転換をもたらし、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域であって、少数・小規模の研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の短期的な取組により、革新的・独創的な学術研究の創成が期待されるもので、次の 1)～3)の全ての要件を満たすもの。
 - 1) 基礎的研究(基礎から応用への展開を目指すものを含む。)であって、複数の分野にまたがる研究領域や革新的な学術研究の創成を目指すもの。
 - 2) 「(i)国際的な優位性を有する(期待される)もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する(期待される)もの」。

- 3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を变革する可能性を有することなど、学術変革領域研究（A）への展開などが期待されるもの。

3. 研究計画調書の提出（送信）について

(1) 申請方法について：

「電子申請システム」にアクセスし、研究計画調書を作成し、提出（送信）期限までに送信作業を行ってください。

< 科研費電子申請システム > <http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

応募内容ファイルのダウンロードはこちら

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561_00001.htm

※ 作成にあたっては、必ず「公募要領」を熟読のうえ、注意事項に留意してください。

(2) 送信（提出）期限について：

2021年1月8日（金）

（期限に間に合わない場合は必ず事前にご相談ください）

（事前相談なく期限までに送信されない場合は申請しないものとして取り扱います）

4. 計画調書提出先・問い合わせ先：

研究支援課（1号館3階） 渡邊・椎野（内線4816・4799）
平塚研究支援課（平塚11号館） 小嶋（内線3023）

以上